

お祝いまで70年

みんなで創って みんなが利用

小松川信用金庫

本店 〒132 江戸川区平井6-23-23 ☎617-1201代

江戸川タイムス

●発行所：江戸川タイムス社 〒139 東京都江戸川区西小岩1-30-10 ☎(03)672-8155代
 ・千共1部100円・印刷：四季グラフィックス L M小岩第二ビル4F FAX(03)672-5783

3 MARCH 1989 Vol.28

【江戸川区の趨勢】
 面積 49.09km²
 人口 547,831人
 (前月比461人増)
 世帯 206,698世帯
 (前月比327世帯増)

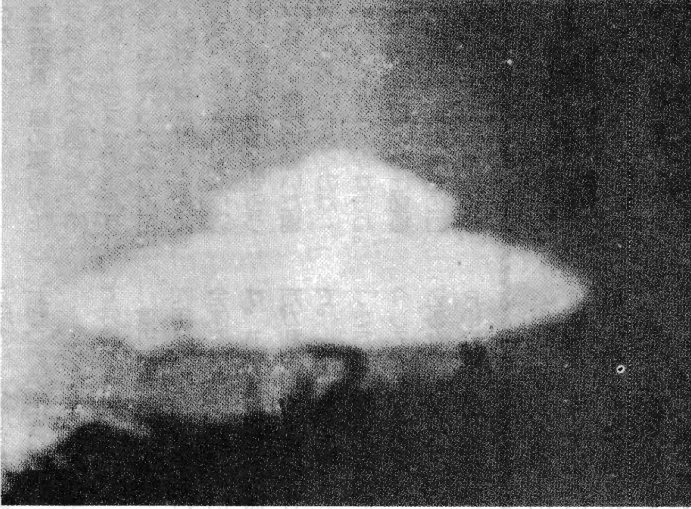
平成元年2月1日現在

宇宙からの訪問者

UFO・その真実の解明と宇宙哲学

昔から地球上には謎めいた物語りはつきないが、「UFO」というのはだれしも聞いたことがある。UFO＝未確認飛行物体について、我が街に住むUFO研究家の久保田八郎氏から数々の興味深い話を伺った。久保田氏の多くの調査、研究、体験、著書、長時間のインタビュー。その全容をお届けする。

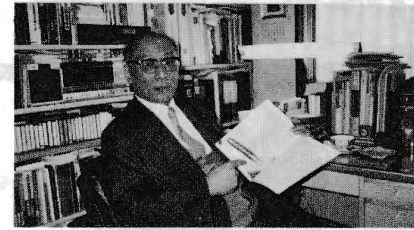
江戸川区に住む久保田八郎さんは、ノンフィクション・ミステリー作家として活躍する方たち、UFOの研究者としても名をほせ



▲コニストン円盤 1954年2月15日、イギリス、ランカシャー州のコニストンで、当時13才のスティーン・ダービシャー少年が撮影した円盤。(UFOコンタクトより)

編集した英文版「UFO Contactee」は、世界各国のUFO研究団体等で絶賛を博している。また「アダムススキー全集」(全八巻・文久書林)、「七つの謎と奇跡」(主婦の友社)、「カトランティス大陸の謎」(ルトル下の奇跡)等、数々の著書がある。

久保田さんがUFOに興味を持ったきっかけは、「大学を出たあと、故郷の島根県で高校の先生をしていた頃です。夏の終り頃でした。ふと立ち寄った本屋で、『空飛ぶ円盤発見記』と題する一冊の本が目にとまりました。運命的な出会いともいえます。どうか、引き寄せられるように見入り、三日、三晩興奮しました。(久保田さん) その時から、著者でUFO



▲「これがパロマー山腹でジョージ・アダムススキーが撮影した金星の大母船ですよ。」久保田八郎さん。

の研究者として知られるジョージ・アダムススキーとの文通が始まった。ジョージ・アダムススキーはUFOを最初に撮影した人。また金星人と会見した人としても知られている。

空飛ぶ円盤、正体不明の光体が飛んで来た等々の話は遠い遠い昔、日本でも語られてきた。UFO、異星人等今やアメリカでは2人に1人、つまり半分は信じている、日本においては5人に1人というところでしょう。と久保田さんは言う。

この地球上には高度な発達をとげた別の惑星から宇宙船に乗ってひそかに飛来した人々が、正体を隠したまま各種の職業に従事しながら、スペース・プログラム(地球救済計画)を遂行していると、アメリカの高名なコンタクトライター(異星人に接触した人)ジョージアダムススキー(前述)は言ったが、確かに異星人とおぼしき人とコンタクトした人がいるのだ。勿論久保田八郎さんもその一人である。

▶金星人の姿
 1952年11月20日アダムスキーが会見した金星人を、目撃者の一人、アリス・ウェルズがスケッチし、そのスケッチやアダムスキーの証言にもとづき女流画家のゲイ・ベッツが描いた油絵。
 <UFOコンタクトライターより>



氏が体験した驚くべき内容は次号でふれることにするが、このUFOについての数々の事柄がNASA、アメリカ航空宇宙局、他最高機関でシークレットになっているのもまた事実のようだ。

宇宙からの訪問者

前号の『宇宙からの訪問者』にはたくさんの方の反響をいただいた。そこで「UFO・その真実の解明」パートIIをお届けします。

江戸川区に住む、ノンフィクション・ミステリー作家で、しかもUFO研究者家としても知られる久保田八郎さん（日本GAP会長）の説明、調査研究、体験資料にもとずいてお届けしますが、膨大な内容につき、かい摘んで掲載します。

ジョージ・アダムスキーはUFOを最初に撮影した人で、別の惑星から宇宙船で地球に飛来した異星人と

コンタクトした人でも知られている（前号参照）。高度な発達をとげた別の惑星からひそかに地球上に飛来し、スペースプログラム（地球救済計画）を遂行しているという。

米科学誌「オムニ」に、ジェローム・クラークの報告記事として、アメリカのトップクラス科学者の一人ロバート・サーバチャー博士が最近のインタビューで米政府が隠していた墜落したUFOについて知っていることと認めたという内容がある。また、「空飛ぶ円盤の背後」なる書物には、アメリカの砂漠地帯に墜落した

UFO・その真実の解明 (II)

円盤の中に小人宇宙人の死体（複数）が発見されて、米空軍が隠したという驚くべき内容が載っている。しかし、この書はアダムスキーの著書同様、猛烈な批判のもとに葬り去られてしまった。NASA（米航空宇宙局）はアポロを打ち上げてきたが、宇宙飛行士たちは、UFOやそれに関する何かを目撃したとしても、この計画（アポロ計画は勿論政府プロジェクトだった）を指揮する高官達にしか報告されない。月からの生映



写は八秒遅れて届けられ、そこに必要な検閲の入り込む余地があつた。UFO問題に関して沈黙を守るNASAの堅い扉により大衆は知るすべもなかつたのだ。久保田さんがローマの、サン・ピエトロ寺院で地球人ではない若い修道士に遭遇した内容等は紙面の都合上割愛させていただくが、詳しくは日本GAP機関誌UFOコンタクトティーを一読してみても。

空飛ぶ円盤の出現を目撃した人は無数にいたが、いまだその全容がみえてこない。六月二十四日は「空飛ぶ円盤記念日」。近い将来この問題にも結論が出よう。

取材協力・日本GAP（会長 久保田八郎）
（注）GAPは知らざる運動という意味の世界的なグループ活動で、世界中の人々がUFOの真相について、知る機会を。と一九五五年にジョージ・アダムスキーによって設立された。



▲ジョージ・アダムスキーが金星人とコンタクトした地点に立つ久保田八郎氏（左） パロマー山腹で

読者からのお便り・情報をお待ちします。記事に取上げて欲しい人、事から、サークル等編集部迄ご連絡ください。あなたの体験、感懐、思ふこと、楽しい家庭の出来

あなたの手軽に使用

「区内共通商品券」をどうぞ
江戸川区商店街振興組合連合会

知を拓き
知を育てる……



青雲塾

本部・研修センター
都営新宿線瑞江駅前長塚ビル3・4F ☎679-8140(代)

江戸川タイムス

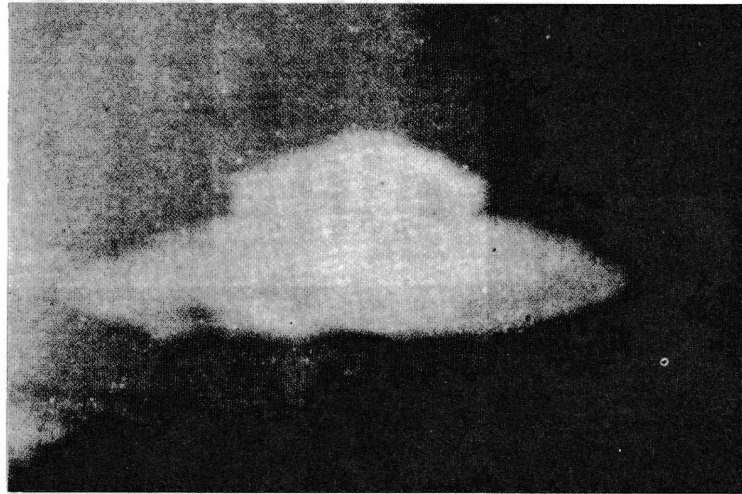
FEBRUARY
1990 Vol. 39

●発行所：江戸川タイムス社 〒139 東京都江戸川区西小岩1-30-10 L.M.小学第二ビル4F
〒139 東京都江戸川区西小岩1-30-10 L.M.小学第二ビル4F
TEL (03)672-8155 郵 FAX (03)672-5783
(区の趨勢)面積49.09km²・人口555,806人・世帯212,733世帯(平成2年1月1日現在)

一 下町で躍進する

ラッキー70分仕上
(美印・会社印)

●小岩駅前
TEL イーネット
FAX 671-1785
●新小岩たつみ橋角
TEL 693-8785



▲コニストン円盤 1954年2月15日、イギリス・ランカシャー州のコニストンで、当時13才のステイーバン・ダービシャー少年が撮影した円盤。(UFOコンタクトより)

目撃している。久保田さんらは神田郵便局へ、全国会員向けに発送する機関誌「UFOコンタクト」を運

昭和六十二年七月十八日午後五時すぎ、久保田氏は蔵前橋通りを神田方向へ車で走っていた。亀戸四丁目あたりで突然、同乗していたEさんが叫んだ。あつ円盤ですよ、円盤が飛んでいます。左手で指さされた方向を見ると、いたゞ真珠に似た白銀色に燦然と輝く円形物体が「らガー」という看板の上を越えて左から右へ(南から北へ)移動し、遠いスカイラインの上を低空で悠然と飛んでいたのだ。これは後続車のNさんも目撃している。久保田さん

搬中だった。久保田さんらは「この円盤はどつども私たちが姿を見せるために出現したとしか思えない。視界の良くな位置とタイミングの良さ等そうとしか考えられない、やはりスペース・ヒーブルの祝福と激励のサインなのだろう」と思ったそとだ。といつぶつに言えは、いかに主観的でロマンチックで非科学的に響くかもしれない。しかし、ジョージ・アダムスキー(UFOを最初に撮影した人。また金星人と会見した人として知られている)の著書「宇宙からの訪問者」で伝えられている別の惑星の超絶した文

世の中謎めいた物語はあるものだが、「UFO」も確認飛行物体というのは誰しも興味がある。UFOについて昨年本紙でも取り上げたが大変な反響を頂いた。UFO問題に関しては、いまだ曖昧模糊とした論説が流れている。今月号は我が江戸川在住のUFO研究者、久保田八郎氏に登場頂き、多年にわたる調査研究、そして氏の体験に基づいた、UFO・その真実解明と宇宙哲学に迫る。

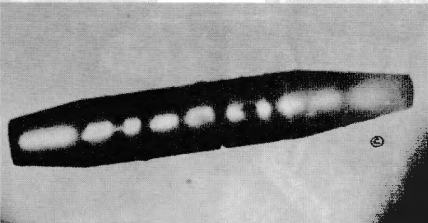
UFO 蔵前橋通りから見た美しい円盤

明と科学は、地球人の想像をはるかに超えるものであるし、アダムスキーと同様の体験をした日本人の体験記「異星訪問奇談」にもスペース・ヒーブルのものすべく高度に発達した科学と精神の状態で克明に語られているところからみると、気が遠くなるほどの格差が存在すること自体、ロマンそのものであり、現在レベルの科学研究の対象とするには縁遠いでしょう」という。更に「かといって非科学的な詩文の材料にとどめてよいというではありません。それどころかUFO問題は地球人にとって重大きわまりない要素を帯びていると言えるでしょう。」



▲多年にわたりUFO問題を調査研究している

第一書林
忘れないうち
本とふれあうその瞬間
B-BOX & 宅配便
南口店 新小岩駅前通り ☎653-2421
北口店 新小岩駅北口前 ☎696-2753



▲金星の大母船。1952年5月1日/ロマー山腹でジョージ・アダムスキーが撮影

求む

不動産

- 事業用地
- 住宅用地
- 一戸建
- マンション
- 工場・店舗

■無料査定実施中
 ■秘密は厳守致します
 ●当社特許取得スピード売却
 ●即金買取も致します
 まずは、お電話で

●(社)全国宅地建物取引業協会会員 ●(社)東京都宅地建物取引業協会会員
有限会社 興産建設
 都知事免許151924・江戸川区南藤2-91-4

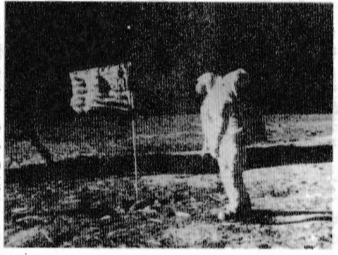
●水曜定休日
 ☎お問い合わせ [677]7011 (代表)
 お申し込みは

科学的な根拠が、一般化したことにあると思われる。だからUFOは別な太陽系の惑星から来る物体だとか四次元世界の霊的な物で、地球の大気圏内に入ってから物質化するのだの宗教的なもの等諸説紛々たる有様。

しかし、アダムスキーによれば我々の太陽系には全部で二個の惑星があり、しかも地球を含む惑星群に人類が存在し、高度な文明を築いており、しかもUFOなるものは太陽系内の地球以外の惑星群から来る超高度に発達した金属の宇宙船であつて、彼らは地球の救援目的で来るのである。

こうなると惑星探査機による「科学的」調査結果と真つ向から矛盾することになり、科学を絶対視したがる学者や大衆に反アダムスキー思想を植えつける結果となつた。

いすれにせよまだ「宇宙開発により惑星探査機が太陽系内の各惑星を調査した結果、地球以外の惑星に生物がないことは明確になつてゐるのに、なぜか「UFO」という疑問もあるではないか。この疑問に対する回答は



▶月面の静かの海の基地にアポロ11号のオルドリンが立てた米国旗。彼は何を見たか？ 次の一言に尽きる。

「米ソの宇宙開発機関のトップクラス科学者は調査の結果、地球以外にも人間が住み、驚異的な文明を持つ事実を知りながら、現段階では発表できないために隠蔽工作をし、逆情報を出しています。」

なぜか……。発表すれば世界に大混乱が発生する事実を公表すれば学者の權威の失墜、教育体系の崩壊、産業界の動揺、経済界の混乱等、シワ寄せは果てしなく拡大する。したがつて、金星などに素晴らしい文明が存在することを知っている米宇宙開発機関等は、緘口令により一切沈黙を守つてゐるという。あなたはどう思いますか。

取材協力・日本GAP



▶金星人の姿。1952年アダムスキーが会見した金星人を、スケッチや証言にもとづき、女流画家が描いた油絵。

写真提供・日本GAP